

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	堺市立もず園			
○保護者評価実施期間	令和 6 年 8 月 20日		～	令和 6 年 9 月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	22
○従業者評価実施期間	令和 6 年 8 月 20日		～	令和 6 年 9 月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	13
○訪問先施設評価実施期間	令和 6 年 8 月 20日		～	令和 6 年 9 月 20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	20	(回答数)	19
○事業者向け自己評価表作成日	令和 6 年 10 月 21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	質の高いアセスメント・モニタリング	支援開始前に保護者や訪問先と面談や電話により聞き取りを行うとともに対象児の観察を行っている。また、保護者・訪問先双方の思いに寄り添いつつも、対象児の発達に見合ったなおかつ人権を尊重した支援方法の提案を行っている。支援後には保護者・訪問先ともにフィードバックを行い、三者の認識がずれないようにしている。 また、児童発達支援センターが行っていることもあり期待されることが多い。	
2	保護者や訪問先の意向を反映した取り組み内容	事前のアセスメントの方法や日程調整、支援場面など保護者の意向を丁寧に聞き取り対応可能な範囲で応じている。また、直接支援のあり方や訪問先との話し合いの持ち方などは保育や授業の妨げにならないよう実施可能な形でっており、時間が確保できない場合は、電話も活用している。	
3	利用期間の1年ルール	利用可能な1年をどの時期に使うことがより適しているかを保護者や訪問先と検討している。途中で落ち着いてきた場合は、その後必要が出てきた際に再開できるよう一度中断できるようにしている。開始前に両者に説明していることで、長期的な見通しを持っての利用につながっている。1年終了後に再開が必要と思われるケースについては、半年延長も検討する。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学習会や交流会などの家族支援プログラムが必要	訪問支援の性質上保護者やきょうだいが集う場を作るということは難しさがある。	学習会は、事業所として行っているオンライン学習会が複数あるため、その案内をしていき、学びの場を提供する。
2	ホームページやSNSでの発信	ホームページに保育所等訪問支援について掲載しているが、随時SNSなどでの発信はしてきていない。	ホームページのトピックス・SNSを用いて、事業の紹介や事業所との交流会など個人情報に触れない内容を中心に掲載していく。
3	訪問支援に特化した研修への参加	担当者が全員兼務者であることから発達に係る研修や s v は受けているが、保育所等訪問支援に特化したものは実施していない。	引き続き、南北リハセンターの担当者会議の中で、事例を共有したり訪問支援の際の心得を確認し、質を高めていく。外部研修があれば積極的に参加する。事業所交流会でケース交流や事例検討を行う。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 堺市立もず園

公表日 令和 6 年 10 月 30 日

利用児童数 22

回収数 22

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	4	2	1	15		
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	18		1	5	何室も部屋があり、整えられている。	
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	21		1			
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	21		1		必ず、相談・連絡がある。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	20		1	1		
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21		1		すぐに理解してくれた。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20		1	1	子どもや親の意見を取り入れてくれている。	
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	15	1	1	5		
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18		1	4		
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19		1	1		
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	19	1	1	1		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22				すごく丁寧な説明があった。	
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	8	1	5	8		
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	21		1			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	1	1	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21		1			
	18	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21		1			
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21		1			
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	17		1	2		

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	19		1			
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	19	1				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	1		11		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	1				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	13	1	1	5		
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19			1		
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	20				すごく楽しみにしていると思う。	
	28	事業所の支援に満足していますか。	19		1		園での様子が気になっていたが、毎回丁寧に観察して意見をくれるので、助かる。	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和 6 年 10 月 30 日

堺市立もず園

利用児童数 20

回収数 19

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	17	2		・具体的な支援の方法を教えてもらい、わかりやすく、すぐに取り入れられる。 ・実際にそばで保育をしてくださるので、かかわりの様子や声掛け等とても参考になる。 ・助言いただいた内容を実際にさせて頂き、子どもの成長につながった。 ・保護者の考えや思いを丁寧に聞いて受け止められている。そのうえで園内での子どもの様子を観察し、感じたことをわかりやすく話してくれる。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	16	3		・見学しているだけではなく、実際に支援しているところをみせてほしい。 ・専門的な視点で助言をもらえる。 ・自分自身が意識的に行っている支援はもちろん無意識に行っている支援に対しても助言していただけるのでありがたい。 ・加配児を見て取る考え方や具体的な対応方法など、知らないことを教えてもらえる。	直接関わってよいタイミングや場面を訪問先の先生と確認しながら直接関わる場面を作る
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	16	3		・とても質問しやすくその場ですぐに相談に乗ってもらえる。 ・2時間近く一緒に加配児とともに過ごす時間になるので細かいところまで対応の仕方を教えてくれる。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	11	7	1	・助言内容はすでに園でやっていることなので共通理解をするという状況。 ・助言内容を取り入れ遊びが広がった。 ・時期によって生じる課題や困りごとについて、その都度一緒に考えていただくことで軽減している。 ・日頃よりわからないことがあると書き溜めて訪問の際に質問させていただいている。尋ねる場所があるのは気持ち的にも助けられている。	引き続き、すでに実践されていることも言語化し保護者にも伝えていくことを丁寧にやっていく。
5	事業所からの支援に満足していますか。	16	3		・今やっていることに不安を抱いていたが、訪問支援を受けることで解消された。 ・とても満足している。 ・困っていることや悩みなど相談しやすいのでありがたいです。 ・この機会を大切に勉強したいと思う。 ・学校と保護者との関係をよりよいものにするために調整してくださったり助言をいただいてありがたかった。保護者からも「様子が知れて安心した」「嬉しかった」と言われた。 ・園での子どもの様子を保護者に丁寧に伝えてもらっている。	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
①子どもに合わせて訪問支援の期間や就学後の支援のプランなど中・長期的に計画を立てて、切れ目ない支援ができるよう考えている。 ②支援事業所と施設の連携が難しいと感じた。				①引き続き、利用期間内で一番必要とされる時期に使えるよう保護者と訪問先の3者で検討し、ニーズに応じていく。 ②訪問支援の評価は訪問先との信頼関係構築が大前提の事業と考えている。それぞれの訪問先のニーズを丁寧に引き出し、真摯に応じしていくことで信頼関係を深めていく。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		堺市立もず園		公表日			令和 6 年 1 0 月 3 0 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点		
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	11	1	教材は訪問先のことを尊重しているが、必要に応じて、視覚支援や教材、補助具などを持参することがある。			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	13		配置数は適切だが兼務。兼務内容によって担当ケースを調整しており、契約数に見合った配置にしている。			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	2	業務改善や資質向上のため、月1回の地域支援会議や年に数回の南北会議に担当者が参加している。			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	1	支援終了時に保護者アンケートを取り、職員で共有している。検討事項があれば担当者への聞き取り等行い対応している。			
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13		訪問支援担当会議で、業務内容やケースについて話し合うがある。			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	5	集団指導の中で事業内容の確認・見直し等は行っているが、第三者の評価は受けていない。	第三者による評価を受けるための方法を検討していく。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	2	事業所としてケース検討会議やSVを実施。支援者が孤立しないよう地域支援会議の中でケース交流を行っている。他事業所との交流会を開催し学びの場としている。	訪問支援や地域支援に特化した研修は行っていないため、外部研修があれば参加していく。引き続き、事例検討や事業所との交流を行う。		
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	13		保護者面談や電話で丁寧にやりとりしている。			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13		児童発達支援管理責任者と支援員が同席の元で保護者・訪問先ともにアセスメントを行い、複数の支援員の意見を取り入れて実施している。			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	13		訪問先へのアセスメントも丁寧に、訪問先の意向を反映し、実践可能な内容を盛り込んでいる。			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13		複数の児童発達支援管理責任者により内容の検討をしている。			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	3	フォーマルな標準化されたツールは使用していないが、事業所内で統一されたアセスメントシートを使用している。			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	13		ガイドラインを支援員で共有した上で、具体的な支援内容を複数の職員で検討している。			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13		11で回答済み			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	6	訪問先によっては開始前の打ち合わせが不十分な場合もあるが、訪問先のニーズに合わせた話し合いの時間を確保している。	短時間でも意識のずれが生じないためにも話し合いの時間は確保していただくようにする。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	5	支援に悩むケースについては同僚や上司に相談・確認している。			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	13		支援の押し付けにならないよう支援先の意向を確認しながら実施することを心掛けている。			
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	13		必ず記録を取り、訪問先と保護者にフィードバックするため支援の検証や今後の支援の在り方は確認している。			

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13		支援計画に記載されていること以外の相談にも必ず応じており、必要な時期に見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	1	会議への参加も行うが、日程が合わずに参加できないときには電話等で事前に訪問支援からの報告をあげている。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	3	関係機関向けの見学会や交流会において、訪問支援についての理解を深めてもらい、連携をとる体制を整えている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12		主に就学をまたいで利用することが多く、就学前の支援方法を引き継いでいけるよう情報共有を行っている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	8	5	訪問支援に特化した研修はないが、事業所との交流会を行い、学びの場としている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	11	2	事業所として各区の自立支援協議会に参加して、地域のニーズの把握や関係機関との関係構築を図っている。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13		支援後の報告を中心に、保護者とのやりとりを必ず行っている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	12	訪問支援利用者向けの家族支援プログラムは実施していない。	土曜日クラブの「まなびの広場」や発達学習会などオンライン学習の案内などをしていく。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13		利用前のアセスメントの面談の際に丁寧な説明を行っている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	13		利用前のアセスメントの面談の際に丁寧な説明を行っている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13		「保護者の願い」に偏りがちな保護者には「こどもの願い」という視点でこどもを捉えられるよう丁寧に確認している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	13		作成前にも丁寧に聞き取りを行い、作成後には計画書を示しながら内容確認している。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	13		訪問時の報告の際、適宜相談に応じている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	12	通園タイプの事業では実施しているが、訪問支援という事業の特性上、保護者会等の取り組みは現実的ではない。	ニーズの掘り起こしと併せて、必要に応じて実施可能な方法を検討する。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13		重要事項説明に苦情受付について記載しており契約の際に説明しているとともに、気になることは随時申し出てほしい旨伝えている。実際に相談があれば迅速に対応している。担当者だけで解決しにくいことは児童発達支援管理責任者にその都度相談している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	10	HPへの掲載はしているが、SNS等で定期的な発信はしていない。	個々のケースについての掲載は難しいが、訪問支援の事業内容や交流会について、情報発信していく。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13		事業所内での研修やヒヤリハットにて職員の意識を高めている。	
訪	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13		相手に応じた方法や時間など配慮している。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	13		訪問時以外で必要に応じて、電話等の対応も行っている。保護者への報告の際に気になる内容があれば適宜訪問先にもフィードバックしている。	

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	12	1	支援後に訪問先の職員にフードバックすることと併せて、今後の支援方法や保護者からの相談内容の共有を行っている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	13		必要に応じて家族への報告の内容や言い回しも確認している。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13		他の保護者に訪問支援を使っていることを含めて個人情報が漏れないよう配慮をしている。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	13		訪問先との信頼関係が大前提と考えている。訪問先のニーズや意向を確認することは必須。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13		契約の際に非常時の対応について説明をしている。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13		事業所として行っており、非常時の対応を訓練している。	訪問先での非常時について、改めて担当者および訪問先と共有しておく。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13		事業所として毎朝のミーティングで周知し、各部署でも同様のことが起きないようにしている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13		職員研修を行うとともに契約の際に保護者へのそのこと伝え、気になることはその都度報告いただきたい旨伝えている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	2	こどもに危険がある場合には身体拘束を行う場合がある旨を契約の際に確認はしているが、想定される場面がないため支援計画には記載していない。	